



環境科学科1年 第1回研究室訪問を行いました。

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所

6月15日（金）に環境科学科1年生は関西光科学研究所木津地区を訪問しました。関西光科学研究所は原子力研究の新たな展開を行うことと先進的レーザーを用いた新たな放射光の開発の研究の中核拠点となることを目指して日本原子力研究所によって設立された研究機関です。はじめにS-Cubeスーパーサイエンスセミナーとして今園孝志博士研究員から「光、色々」という演題で講演をしていただきました。生徒は、日頃から疑問に思っていることを積極的に質問していました。また、全員で簡易分光器を作成し、今園研究員が研究している分光についての学習を行いました。その後、実際に研究施設を見学しながら、レーザーによってがん治療を行うしくみや研究機器についての理解を深めることができました。光科学館「ふおとん」では、光を用いた様々な実験機器が展示しており、実際に使用することで理解を深めました。



精密機器が多くある研究施設内に入るためにシューズカバーをつける生徒



缶サット甲子園 2018 和歌山地方大会で第2位になりました。

7月8日（日）に缶サット甲子園2018和歌山地方大会がコスモパーク加太とイオンモール和歌山で行われました。近畿の高校10校が集まり、缶サット（空き缶サイズの自作の模擬人工衛星）を自作したモデルロケットの中に積んで打ち上げ、上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競い、自分たちのミッションがどれほど意義のあるものかや、打ち上げの結果の考察等をプレゼンテーションで発表しました。本校からはSS探究科学Ⅱの授業の課題研究の一環として物理ゼミの4名（環境科学科2年生）が参加し、第2位という結果を修めることができました。今年度の缶サット甲子園2018全国大会は6年ぶりに和歌山のコスモパーク加太で10月6日（土）～8日（月）に行われます。全国大会で優勝するとESA（欧州宇宙機関）缶サット大会に出場する権利が得られます。



普通科1年 KEcRe I クラス内発表会を行いました。

第3期の指定を受け、昨年度から普通科も探究活動を行っています。高校2年生で課題研究を行います。1年生は、その課題研究を行うために必要なスキルであるプレゼンテーション能力を身につけるために奮闘しています。その1つとして、職業調べを行い、自分たちで調べた事をまとめてプレゼンテーションを行っています。中間発表で指摘をうけた部分を改善し、今回のクラス内発表会にそれぞれの生徒が臨みました。良い緊張感の中、発表会が行われました。質疑応答も活発に行われ、時間の足りない発表もありました。ユーモアも交えながら楽しんで発表している生徒のみなさんの姿が印象的でした。



環境科学科1年 第1回先端科学講座を行いました。

7月10日（火）、11日（水）に和歌山大学教育学部木村憲喜教授に来ていただき、第1回先端科学講座「水質分析」を行いました。5月に和歌山市内の河川の様々な地点で採取した水を用いて、その水に溶けている酸素量を、滴定により定量的に測定する実験を行いました。意欲的かつ楽しみながら生徒のみなさんは実験に取り組んでいました。

